

けやき会通信

感謝状

「樺会」の皆さまへ

皆さまと出会い「樺会」の活動を通して、学び、語り合い、食事をともにし、歩みを重ねた五年半の日々は私にとって大きな励みであり、多くの喜びと学びを与えてくださいました。

隔月のJADEC「さかえ」を携えた外来糖尿病教室や例会、馬事公苑での歩く会、そして2025年秋に迎えた50周年の祝賀会には多くの方々がお祝いに駆けつけてくださいました。

五十年にわたり、糖尿病とともに歩む道を、互いに支え合いながら真摯に歩み続けてこられました「樺会」の皆さまへ私から心からの感謝状を贈呈させて頂きたいと思っております。

診察室の中だけでは決して知り得ない、日々の暮らしの中での工夫や葛藤、そして仲間と分かち合う喜びを、皆さまは惜しみなく私に教えてくださいました。糖尿病治療とは、単に検査値を整えることではなく、お一人お一人の人生に寄り添い、その方らしい毎日をともに支えていくことである――その大切なことを改めて教えていただきました。

このたび、私は大学病院での診療・教育・研究へと歩みを進めます。皆さまと過ごした時間、交わした言葉、頂戴した数々の学びは、これからも私の医療者としての大切な礎であり続けます。また今後は編集委員として関わらせて頂くことになる「さかえ」を通じて皆さまのお役に立てればと思っております。

「樺会」が、これからも多くのお仲間と当院の素晴らしいスタッフ達に支えられ、互いに寄り添いながら、ますます発展していかれることを心より願っております。

私たちは、どこにいても、いつまでも One Team® です。

皆さまの健やかで笑顔あふれる毎日を心よりお祈り申し上げます。
これまでのご縁と温かいお支えに、心からの感謝を申し上げます。
本当にありがとうございました。

令和八年九月吉日

公立学校共済組合関東中央病院 糖尿病・内分泌内科

部長 岡畑 純江